



未来への想い、 瀬谷への想いを込めて

30年前のタイムカプセルオープン



30年前の平成元年、瀬谷区制20周年記念事業で「瀬谷区の未来」をテーマに、区内の小中学生から募集した絵画や文集560点をタイムカプセルに保管し、区制50周年で開封することとしていました。令和元年6月2日、大人になった当時の子どもたち36人とその家族が集まり、ついにカプセルを開封！懐かしい作品や友人との再会で、会場には笑顔が溢れました。

寄せられた メッセージ

※学校名は、御本人の当時の学校です。

横浜市の西の玄関口「瀬谷」。
相鉄線の都心直通の波に乗って、今後益々
発展していくことを期待しています。
(瀬谷第二小)

初めて作品が選ばれ嬉しかったことを覚えています。この絵のお陰で自信を持ち、今も『やりたい』と思ったことは、全て達成するよう行動しています。この絵を描いた想いと喜びは今も変わらず私の大事な資産になっています。
(南瀬谷小)

当時はタイムカプセルに入れる作品に選ばれたことが嬉しく心躍ったことを思い出します。子どもも「瀬谷は良い所だね」と話しており、変わらぬあたたかい地域行事のあるこの町に住み続けていきたいと思っています。
(下瀬谷中)

区制50周年おめでとうございます。
20周年記念で行った駅伝大会を思い出し、懐かしくなりました。
これからも緑多い素敵な町でありますように、と願っております。
(下瀬谷中)

瀬谷区制50周年おめでとうございます。現在海外在住で式典には参加できませんが、記憶の彼方のタイムカプセルと言う夢のある話に大変わくわくしています。自然豊かで心がほっこりする瀬谷。大好きです。
(上瀬谷小)

